

令和5年度第3回小樽市障がい児・者支援協議会（全体会議）概要

開催日時：令和6年2月29日（木）15時00分～15時28分

開催場所：第2委員会室（オンラインと対面の複合開催）

≪内 容≫

以下、開催の内容を要約

1 開会

- ・資料の確認
- ・第26回精神障害者リハビリテーションフォーラム開催のお知らせ
（根深委員）

精神障害者家族連合会という一般社団法人です。北海道の補助金等をいただき、精神疾患に対する個別の偏見また精神保健福祉士等の啓発運動等をしております。ご存知のように身体障害とか知的障害の活動は、長い間活動されており、それなりの運転ストレス等は少なくなっていますが、精神疾患に関する認定差別の根深さというのは、なかなか改善されないのが現状です。そのため、毎年フォーラムを開き、偏見・差別の社会に啓発活動しています。平成元年には石橋病院の畠上先生に、「統合失調症とはどういうものか」というフォーラムを小樽で開催してもらい、今回は3月16日に同じ市民センターで「家族支援と支援のあり方」について開催します。皆さんに精神障害者に対する支援とはどういうものか、今日出席されている塩谷福祉会の浦部さんが日々、表現が適当でないですが、悠悠と悪戦苦闘されている姿こそ、一つのサンプルでないかと思い、是非精神障害に対する、精神疾患に対する支援のあり方を、皆さんに知っていただきたいと思いご案内しました。3月16日皆さんご都合よければ、ぜひお越しください。よろしくお願いいたします。以上です。

（南部主査）

事務局で取りまとめは特に行いませんので、申し込みは直接、北海道精神障害者家族連合会の方へよろしくお願いいたします。

書面参加されている委員の方をご紹介します。

東南部地域包括支援センターの石ヶ森委員。

南部地域包括支援センターの飛内委員。

ハローワークの小原委員。

小樽手をつなぐ育成会の鈴木委員。

社会福祉協議会の高垣委員。

小樽四ツ葉学園の岩田委員。
社会福祉法人志成会の佐藤委員。
小樽高島福祉会の水野委員。
小樽市役所の福祉保険部長の勝山。

～金子会長の進行～

3 議題

(金子会長)

本日の議題は、第 7 期小樽市障がい福祉計画・第 3 期小樽市障がい児福祉計画案について。12 月に第 2 回の協議会で、委員から意見をいただき、その後市民からパブリックコメントで意見をいただいております。その中から必要な意見を反映させた案が今日示されております。その内容について審議し、意見等をいただき、完成を目指す機会とさせていただければと思います。それでは議題の第 7 期小樽市障がい福祉計画・第 3 期小樽市障がい児福祉計画案について、事務局の方からご説明よろしく願いいたします。

(曾我部主幹)

・資料 1、資料 2 の説明（資料 3 省略）

(金子会長)

資料に基づいて説明をいただきました。この内容について、何かご質問やご意見等ございましたら伺いしたいと思います。ご発言の際には挙手にてお知らせいただければ助かります。

(根深委員)

17 ページの一般就労移行者数の目標の数値の設定ですが、精神疾患の立場から、例えば就労継続支援 A 型事業所の目標数値が 5 人となっており、利用する方がプレッシャーになるということはないでしょうか。あれば、非常に困った問題になると思うので。

(曾我部主幹)

この目標数値は、あくまで目標で、前期計画においても達成できない部分が多くありました。努力目標といいますか、小樽市全体で伸ばしていこうという目標ですので、達成できなくても、罰則があるものではないし、個々の事業所さんにプレッシャーを与えるものではないと考えております。

(大洞委員)

私も日中活動事業所の管理者をしています、「日中活動系サービスの充実」のところに「サービスの受け入れ体制の確保」という文言も入れていただいたのですが、私の事業所への問合せも、強度行動障害をお持ちの方の相談が多く、うちの事業所も今は定員が一杯でお受けできない状況ですが、今回の令和 6 年度からの報酬改定でも強度行動障害の方たちへの支援というところに非常に手厚く施策を盛り込んでいるようで、各事業所の方も強度行動障害の方たちの受け入れがさらに進めばいいなと感じているところです。すいません。感想みたいな形になってしまいましたが、以上です。

(金子会長)

今のような感想等それぞれの事業所の特徴も反映してご意見をいただけると助かります。この機会で見聞や何かを言う機会はなくなってしまう、完成形を目指す機会なので、この段階で何か確認等しておいたほうがいいと思います。

(金子会長)

私の方から、パブリックコメントで 51 のコメントをいただいて回答し、小樽市の考え方ということで示されております。計画に反映している部分もありますが、協議会の中で説明されているものもあり、どのように取り扱われるのかお知らせいただければ。

(曾我部主幹)

パブリックコメントはホームページで公表させていただきます。また直接計画に反映しないものも、今後の施策への参考にさせていただきます。

(金子会長)

今回、書面で参加されている委員の方もいますが事前に何かコメント等が届いていればお知らせいただければと思います。

(南部主査)

書面参加委員からの質問や意見は特にありませんでした。

(金子会長)

それではこれをもって事務局の皆さんに今後の最終的な策定作業に移行していただくということでよろしいでしょうか。

(全体)

はい。

(金子会長)

作業を次のステップへ進めていただければと思います。どうかよろしくお願いいたします。

(金子会長)

事務局の方から何かありますでしょうか。

(曾我部主幹)

小樽市では令和 6 年度から重層的支援体制整備事業が始まります。障害特性や年齢、家庭、相談者の特性や性別、年齢にこだわらず、また地域全体で相談・困り事を受け付けていくという、重層的整備体制支援事業が 4 月から始まるところです。

これについては、コーディネーターを 1 人配置し、具体的な支援に当たっていくことになりますが、4 月以降それぞれの事業所様に相談を持ちかけることがあるかと思いますが、その節はよろしくお願いいたします。

(南部主査)

私の方から 2 点ご連絡です。

皆さんの本協議会委員の委嘱期間ですが、今年 3 月末で満了となります。近くなりましたら推薦依頼等のご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。

2 点目ですが、次回の協議会は 5 月下旬から 6 月上旬の開催を予定しています。こちらも近くなりましたらまた日程調整のご連絡を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

(金子会長)

その他なければ、これにて第 3 回小樽市障がい児者支援協議会を終了とさせていただきます。ご協力いただきありがとうございます。どうぞこの後もよろしくお願いいたします。